

事業の目的

山崎跨線橋南側交差点は、県道 302 号（小袋谷藤沢）と県道 304 号（腰越大船）が交差する交通量の多い交差点ですが、現在は、交差点の目違い（直進車と右折車が向かい合わせで交差点を通行する状態）や歩道狭小が交通安全上の課題となっているほか、朝夕ピーク時には慢性的な交通渋滞が発生しています。

これらの課題を解決するため、県は、鉄道廃線跡地を活用し、交差点拡大による目違いの解消や右折レーンの延伸、歩道の拡幅を行い、交通安全の確保と交通流の円滑化に取り組んでいます。



交差点の目違い



歩道狭小

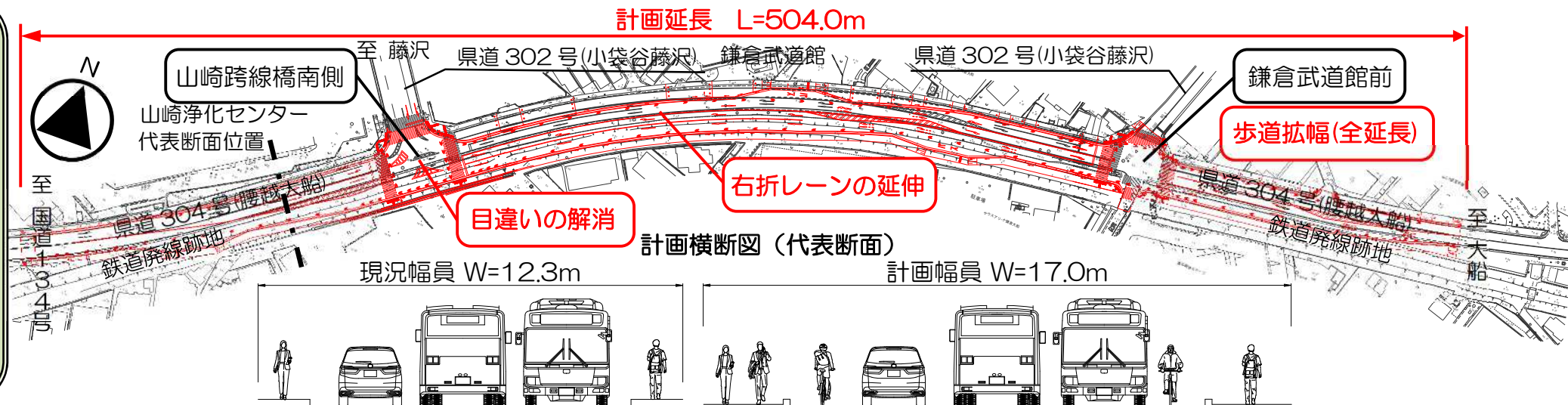


交通渋滞

事業の概要

- 路線名 県道 302 号（小袋谷藤沢）
県道 304 号（腰越大船）
- 事業区間 鎌倉市山崎～台二丁目地内
- 事業概要 計画延長：L=504.0m
計画幅員：W=17.0m（代表値）
車道 W=3.0m×3、路肩 W=0.5m×2
自転車通行空間 W=1.0m×2
歩道 W=2.5m×2
- 事業年度 令和 5 年度～令和 10 年度（予定）

平面図



事業の工程（施工ステップ図）

